

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		天竜区区振興課
	04	03	04	01	01	

政策
市民が地域やコミュニティの一員として活躍できる社会の実現

政策の内容

市民がコミュニティ活動へ参加することができる機会や場を多数創出し、市民協働によるまちづくりを推進します。地域活動の拠点である協働センター等のコミュニティ担当職員を中心として、地域資源の情報収集、地域団体への助言、団体間の連携促進や地区コミュニティ協議会の設立・運営支援などを行い、市民主体のまちづくりを進めます。

自治会の円滑な活動を支援し、自治会活動への市民の理解や参画を広めます。

区協議会などを通して地域の声を丁寧に向い、各区・地域の特性や資源を活かした 区政運営に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域とのつながり	あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか。	3.04	3.08				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

天竜区の人口減少及び少子高齢化により自治会等の活動人材が減少しており、地域自治や集落活動を維持することが難しくなっているため、自治会をはじめとした地域団体への支援が必要となっている。

地域団体の主体的な地域づくりや課題解決に向けて、区・支所・ふれあいセンターに配置したコミュニティ担当職員が、「地域のハブ」、「地域と行政のパイプ役」として、伴走型で支援する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	148,244				
決算	130,736				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	106.8				
会計年度任用職員	39.7				
暫定再任用職員(31時間勤務)	20.9				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
地区コミュニティ協議会事業	地区コミュニティ協議会が区協議会に関する活動を行う際に、支所・ふれあいセンターが、区役所と連携し、事務局としての業務を実施する。 ・地区コミュニティ協議会の会議開催に係る支援 ・区協議会に要望を行う際の支援	250
		0
区協議会運営事業	地域住民の意見を行政運営に反映させ、地域における市民協働を推進し、もって住民自治の推進を図るため、区協議会を開催する。 ・市長その他の市の機関から諮問・協議・報告されたものや地域課題などについて協議 ・会議録等の公開	189
		148
市民提案による住みよい地域づくり助成事業(補助金)	各種団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し補助金を交付する。	3,500
		2,218
区民活動・文化振興事業	地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて区が事業を実施する。	20,978
		18,734
区課題解決事業	区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて区が事業を実施する。	8,310
		7,571
協働センター等を核とした地域課題解決事業	支所・ふれあいセンターにおいて、地域の課題を解決するため、地域団体等との協働によって事業を実施する。	750
		358
行政連絡事業	各地域自治会連合会に委託し、区内の全世帯への文書配布(広報はままつ、市議会だより等)及び軽易な調査等の行政連絡業務を実施する。	31,475
		30,656

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
自治会集会所整備費助成事業 (補助金)	地域住民の福祉の向上及びコミュニティづくりに寄与するため、誰もが安全かつ円滑に利用することができる集会所の新築、増築、改修、耐震補強又は購入を行う自治会に対し補助金を交付する。 ・限度額・・・新築、購入:10,000千円 耐震補強:4,000千円 増築、改修:3,500千円	895
		895
防犯灯設置維持管理助成事業 (補助金)	夜間における犯罪の防止及び交通の安全を図るため、自治会が所有し、維持管理する防犯灯に対し、設置費及び維持費(電気料)、管理費(ランプ交換等の補修費)を助成する。 ・設置費補助・・・共架式:@22,400円、独立式:@76,000円 (設置基準を満たすLED灯を新規設置する場合のみ対象) ・維持費補助・・・電気料:全額(設置基準を満たすLED防犯灯のみ対象) ・管理費補助・・・補修費:1灯につき@22,400円を上限	13,246
		13,626
原材料支給事業	自治会等が地域コミュニティ活動の一環として協働で実施する設備整備に対して必要な原材料を支給する。	6,000
		2,504
鹿島花火大会開催事業(負担金)	「鹿島花火大会」が安全に実施されるよう支援するため、鹿島花火大会の警備及び仮設トイレ設置等に対する負担金を交付する。	6,774
		6,774
天竜区交流促進事業(負担金)	天竜区各地(天竜、春野、佐久間、水窪、龍山)の産業まつりの警備及び会場設営等に対する負担金を交付する。	12,043
		11,963
森林のまち童話大賞事業	・自然豊かな浜松市のPRと未来を担う子どもたちへ森林の大切さを発信するため、森林を題材とした童話を全国から募集し、最優秀作品の絵本を発行する。 ・2025年度は第8回目の3年目事業として、表彰式、ミュージカル公演、大賞作品童話本を発行する。	8,815
		8,228
天竜区駅伝大会事業(負担金)	天竜区各地(天竜・春野・水窪)の駅伝大会の警備及び会場整備等に対する負担金を交付する。	1,905
		1,905
ローカルコープ構想推進事業	・ローカルコープ構想の導入・検討を進めることにより、水窪地域の住民同士が助け合い生活を支えていく共助の新たな仕組みづくりを推進する。 ・2025年度は3年目事業として、グランドデザイン策定業務、空き家を活用した関係人口創出業務、森林資源活用施策検討業務委託及び水窪地域で実際に実働する人材の活動謝礼、居住用住居賃借料等の経費を執行する。	33,114
		25,156

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
コミュニティ担当 職員への研修回 数(回)	区・支所・ふれあいセン ターに配置したコミュニ ティ担当職員に対する研 修回数 ※2024年度の実績値は 2024.4.1～2025.3.31の期 間の合計値である。	研修を通じて地域づくりの支援 役となるコミュニティ担当職員の スキルアップ・情報共有が図ら れることで、コミュニティ支援の 充実が見込まれるため。	目標値	-	7	7	7	7	7
			実績値	5	7				
			達成率	-	100%				
原材料支給実施 回数(回)	原材料支給を実施した 回数 ※2024年度の実績値は 2024.4.1～2025.3.31の期 間の合計値である。	原材料を支給することで、自治 会内の協働作業のきっかけを作 り、作業を通して集落活動の醸 成が図られるため。	目標値	-	5	5	5	5	5
			実績値	4	4				
			達成率	-	80%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
コミュニティ担当 職員の職務や役 割に対する理解 度・達成度 (点/100点)	コミュニティ担当職員設 置要綱に規定している 職務20項目について5段 階評価で自己評価(職 務等を理解している:3 点、実践している:4点、 積極的に行っている:5 点) ※2024年度の実績は、 2025. 3月に実施した調 査結果である。	コミュニティ担当職員が、職務や 関係する制度等を理解し、実践 することで、コミュニティ支援の 充実が図られるため。	目標値	-	76	77	78	79	80
			実績値	68	67				
			達成率	-	88%				
自治会集会所補 助対象件数(件)	自治会集会所の施設整 備に対する補助金の対 象件数 ※2024年度の実績値は 2024.4.1～2025.3.31の期 間の合計値である。	集会所の新築・増改築に対して 補助金を交付することで、自治 会の負担を軽減し、自治会運営 の継続が見込まれるため。	目標値	-	2	2	2	2	2
			実績値	1	2				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
協働センター等を核とした地域課題解決事業件数(件)	○	支所、ふれあいセンター(5地域)が実施する地域課題解決事業の実施件数	実績値	2	2					5
			達成率	40%	40%					
区協議会開催回数(回)		区協議会を開催した回数	実績値	12	12					12
			達成率	100%	100%					
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが分けへだてなく、地域コミュニティの中で活躍し、市民、市民活動団体、事業者、市が協働してまちづくりを行っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
地区コミュニティ協議会事業	地域団体のキーパーソンに対し地区コミュニティ協議会に関する説明を行うとともに、今後の設立意向について調査を実施した。	現在、天竜区内において地区コミュニティ協議会は未設置だが、今後希望があった場合は、コミュニティ担当職員を中心に設立に向けて支援していく。
区協議会運営事業	区政運営方針の策定に関する協議や、委員発意の地域課題について意見交換を実施し、地域住民の意見を行政運営に反映させ、住民自治を推進した。 【開催回数】 12回	引き続き、委員間の活発な協議を促し、地域住民の意見を市政に反映できるよう、円滑な会議の運営に努める。
市民提案による住みよい地域づくり助成事業(補助金)	市民が地域の課題解決や地域の活性化のために主体的に取り組む事業に対し、補助金を交付することを通じて地域を活性化し、地域活動の裾野が広がった。 【助成件数】 4件 【実施事業】 ①鹿島の金貨水神伝説とその誕生説を絵本化して広く伝える、②「第8回浜松市森林(もり)のまち童話大賞」ミュージカル創作体験事業、③Musio Echo ～日々の暮らしにSPICEを～、④岡部亮登打楽器リサイクル&打楽器ワークショップ	申請件数の減少が課題となっているため、各地区コミュニティ担当職員が未申請団体の掘り起こしを行い、申請手続きを始めとしたアドバイス等の支援により、申請件数増加へと繋げる。
区民活動・文化振興事業	市民協働の観点を取り入れて、地域の活性化や文化振興のための事業を実施し、各地域における地域資源(文化・資源など)を広く情報発信した。 【実施件数】 12件 【主な実施事業】 ・すみれの里づくり事業 すみれの里・春野のイメージ定着とともに白井鐵造氏の功績を伝承し、地域の魅力を広く地域内外にPRした。 白井鐵造氏の偉大な足跡を、未来を担う子供達に伝え、春野地域の子供達が地域社会に目を向けるきっかけを作り、偉人の生き方を学ぶ中から、豊かな人間性と多様な個性の育成を図った。	引き続き、地域の活性化や文化振興を図る各種事業を推進していく。
区課題解決事業	区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施することにより、安全で安心して暮らすことができる地域づくりに寄与した。 【実施件数】 7件 【主な実施事業】 ・天竜二俣駅前賑わい創出事業 天竜二俣駅西公園を会場に、天竜区の特産品や工芸品等を販売するマルシェや親子向け体験型イベントなどを開催することで、天竜区内外から人の集まる仕組みを構築し、駅前の賑わい創出や関係人口の拡大を図った。 [来場者数:2,081人]	引き続き、区内の課題解決に向けて市民団体等との協働により、必要な事業を推進していく。
協働センター等を核とした地域課題解決事業	協働センター等において、地域団体等との協働によって事業を実施し、地域の課題解決を図った。 【実施件数】 2件 【主な実施事業】 ・白井鐵造生誕125周年記念特別展開催事業(春野支所) 春野町出身で浜松市名誉市民である白井鐵造氏の生誕125年を記念し、氏の功績と芸術性を広く市民に紹介するとともに、地元春野との深い繋がりを再認識する機会を提供し、地域文化の発信・活性化を図った。 また、2026年1月18日に開催した記念ミュージカル「白井鐵造物語」と連動し、特別展と舞台の両面から白井鐵造の人物像に迫る構成とし、地域住民および宝塚ファンに向けて情報発信を行った。	各支所等において、地域課題を再確認し、地域団体等との協働により課題解決に向けた必要な事業を推進していく。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
行政連絡事業	各地域自治会連合会に委託し、区内の全世帯への文書配布（広報はままつ等）及び軽易な調査等の行政連絡業務を実施した。 【対象自治会数】173団体	市政情報の周知や地域コミュニティ維持・形成のため、現状の委託方法を継続しながら必要な見直しを実施していく。
自治会集会所整備費助成事業（補助金）	集会所の新築、増築、改修、耐震補強又は購入を行う自治会に対し補助金を交付した。（新築、購入、耐震補強、増築、改修） 【助成自治会数】2団体	集会所は地域コミュニティの中心となる施設であるとともに、災害発生時の対応拠点となる施設であるため、引き続き自治会と連携して補助事業により集会所の整備に努める。
防犯灯設置維持管理助成事業（補助金）	自治会が所有し、維持管理する防犯灯に対し、設置費及び維持費（電気料）、管理費（ランプ交換等の補修費）を助成した。 【設置補助灯数】20灯 【補修補助灯数】68灯 【電気料補助灯数】6,237灯	引き続き、夜間における犯罪や交通事故防止等を図るため、自治会と連携して地域の安全を確保していく。
原材料支給事業	自治会が地域コミュニティ活動の一環として協働で実施する設備整備に対して必要な原材料を支給した。 【支給自治会数】9団体	今後も原材料支給を継続し、地域コミュニティ活動の充実と生活基盤の整備を図る。
鹿島花火大会開催事業（負担金）	鹿島の花火大会の警備及び仮設トイレ設置等に対する負担金を交付した。 開催日：2025年8月2日（土） 来場者：10,000人（実行委員会報告）	引き続き負担金を交付し、大会が安全に実施されるよう支援を行う。
天竜区交流促進事業（負担金）	天竜区各地（天竜、春野、佐久間、水窪、龍山）の産業まつりの警備及び会場設営等に対する負担金を交付した。 ・天竜産業観光まつり 開催日：2025年11月3日（月・祝） 来場者：9,100人 ・はるの産業まつり 開催日：2025年11月15日（土）、16日（日） 来場者：14,000人 ・フェスタさくま 開催日：2025年11月9日（日） 来場者：800人 ・みさくほ夢街道 開催日：2025年11月2日（日） 来場者：1,700人 ・ほっとぴあたつやま産業祭：2025年11月9日（日） 来場者：1,000人 ※来場者はいずれも実行委員会の報告数値	・地域特性を活かした事業展開ができるよう、地域団体、NPO、企業等との連携、安定的な実施体制の強化など、実行委員会が有機的に運営されるよう働きかけていく。 ・天竜区各地の魅力を発信する企画を実施するとともに、本事業を契機として地域への再来訪を促すような事業を検討する。
森林のまち童話大賞事業	・自然豊かな浜松市のPRと未来を担う子どもたちへ森林の大切さを発信するため、森林を題材とした童話を全国から募集し、最優秀作品の絵本を発行する。 ・2025年度は第8回目の3年目事業として、以下のとおり表彰式・ミュージカル公演の開催及び大賞作品童話本の発行を行った。 1 表彰式・ミュージカル公演 （1）開催日 2025年10月12日（日） （2）会場 アクトシティ浜松大ホール （3）開催時間 開場 午後2時／開式 午後2時30分 （4）入場者数 706人 2 大賞作品童話本の発行 （1）発行日 2025年11月4日（初版） （2）発行部数 4,000部及び電子出版	2026年度から2029年度にかけて実施する第9回目の事業は、作品応募数が減少傾向にあることを踏まえ、作品の募集方法や周知方法を再検討する。
天竜区駅伝大会事業（負担金）	天竜区各地（船明ダム周回駅伝・天狗の里駅伝・北遠駅伝）の駅伝大会の警備及び会場整備等に対する負担金を交付した。 ・船明ダム周回駅伝 開催日：2025年11月30日（日） 参加者：246人 ・天狗の里駅伝 開催日：2026年1月25日（日） 参加者：136人 ・北遠駅伝 開催日：2026年2月22日（日） 参加者：210人	「するスポーツ」による区民の健康増進と地域住民への「みるスポーツ」の提供、地域住民との協働による「支えるスポーツ」を推進し、地域の一体感と活力の醸成を図るとともに、都市部と中山間地域住民との交流の場を提供するため、今後も支援を継続していく。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
ローカルコープ構 想推進事業	ローカルコープ構想の導入・検討を進めることにより、水窪地域の住民同士が助け合い、生活を支えていく共助の新たな仕組みづくりを推進した。 ・自分ごと化会議開催(2回) 2025年6月28日(土)13:30～16:30 22人参加 2025年8月23日(土)13:30～16:30 25人参加 ・生物多様性、文化多様性に資する水窪フィールドワーク開催 2025年8月10日(日)～11日(月) 46人参加 ・グランドデザイン「天竜川流域まかしよう宣言」策定 2025年12月1日(月) ・生物多様性の専門家 坂田昌子講演会開催 2026年1月31日(土)13:30～15:30 約90人視聴 ・「一般社団法人Local Coop水窪」設立 2026年3月5日(木) ・堆肥の地域循環事業実証実験開始 2025年10月18日(土)～ 約700kgの生ゴミ投入 協力(4事業所、14家庭)	引き続き水窪地区における共助による持続可能な地域づくりを推進するため「住民対話の場づくりと組織運営」、「食と農にまつわる生物多様性・文化多様性に資する事業立ち上げ」、「グランドデザインを踏まえた事業領域の選定及び新規事業の検討」、「堆肥循環実証」に取り組んでいく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・区民活動・文化振興事業で雨天によりイベントが中止となった事業があったものの、全体の事業及び指標の進捗はおおむね順調であった。引き続き各事業を実施するとともに自治会をはじめとした地域団体への支援を行うためにコミュニティ職員が伴走型で支援できるよう体制を整えていく。
- ・短期成果(アウトカム)指標のコミュニティ担当職員の職務や役割に対する理解度・達成度の進捗が遅れていることから、コミュニティ担当職員のスキルアップや情報共有の場である研修の機会を持続して提供し、職員の理解を深めていく。
- ・2026年度から、地区コミュニティ協議会に対する支援を直接執行から補助金に切り替え、運営支援を強化するとともに、地域が主体となって開催するイベントに対し、「みんなで応援地域活性化事業」によるクラウドファンディングを実施し、支援を行う。